

2021年度 第3四半期 決算説明補足資料

2022年1月28日



ジェコス株式会社



➤ 2021年度 第3四半期決算

連結損益計算書

連結貸借対照表

➤ 業績・配当予想

連結業績予想

配当予想

➤ トピックス

*本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料で記述されている業績予想等は、当社が決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

2021年度 第3四半期決算について

総合的競争力向上、受注活動強化に取り組み、増収となったものの諸物価の高騰や競争激化に伴う採算性低下等により減益となりました。

(単位：百万円)

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年 同期比	期首 通期予想	差
売上高	80,274	81,822	1,548	111,000	29,178
売上総利益	14,780	14,030	△750	—	—
営業利益	4,468	3,372	△1,097	5,550	2,178
経常利益	4,783	3,769	△1,014	5,900	2,131
親会社株主帰属 当期純利益	3,334	2,585	△749	4,050	1,465

仮設鋼材事業、建設機械事業ともに増収減益となりました。

(単位：百万円)

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年 同期比	増減率 (%)
売上高				
仮設鋼材事業	72,891	74,937	2,047	2.8
建設機械事業	10,102	10,235	132	1.3
調整額	△2,719	△3,350	△631	-
合計	80,274	81,822	1,548	1.9
経常利益				
仮設鋼材事業	4,776	3,653	△1,123	△23.5
建設機械事業	455	300	△156	△34.2
調整額	△448	△183	265	-
合計	4,783	3,769	△1,014	△21.2

収益認識会計基準等の適用により、利益剰余金は当期首残高で22億円減少しております。

(単位：百万円)

		2021/3末	2021/12末	増減額	増減率 (%)
資 産	受手売掛金	40,319	39,898	△421	△1.0
	たな卸資産	23,900	24,391	491	2.1
	その他	38,628	41,492	2,864	7.4
資 産		102,847	105,781	2,934	2.9
負 債	支手買掛金	30,093	33,893	3,800	12.6
	借入金・リース債務	4,075	2,110	△1,965	△48.2
	その他	8,885	11,115	2,231	25.1
負 債		43,053	47,119	4,066	9.4
純 資 産		59,794	58,662	△1,132	△1.9
自己資本比率		58.1%	55.5%	△2.7%	
D/E (デットエクイティレシオ)		6.8%	3.6%	△3.2%	

業績・配当予想について

2021年4月23日公表の水準を据え置きます。

(単位：百万円)

	2020年度	2021年度				
	通期	上期実績				通期公表
			10-12月実績	1-3月見通し	下期	
売上高	110,206	50,276	31,546	29,178	60,724	111,000
営業利益	6,072	1,953	1,419	2,178	3,597	5,550
経常利益	6,500	2,162	1,607	2,131	3,738	5,900
親会社帰属 当期純利益	4,549	1,467	1,118	1,465	2,583	4,050

2021年4月23日公表の水準を据え置きます。

		2020年度 実績	2021年度 予想
配当金	(年間)	35円	35円
	中間配当	15円	15円
	期末配当	20円	20円
配当性向		28.00%	31.50%

トピックス

当社の賃貸用資材のうち約90%はリユース商品であり、鋼材をリースし再利用するという事業モデルそのものが環境問題に貢献するものと考えています。

また、自社排出以外の排出量も含めたサプライチェーン全体から出る温室効果ガスの排出量を算定し、削減に向けて取り組みます。

■「輸送時のCO₂排出量削減目標」 2030年に2013年比で46%削減

モーダルシフトの促進

長距離輸送時の一部区間をCO₂排出量が大いトラックから、CO₂排出量の小さい船舶にシフト
(主に工場間の移管時に活用)

効率的、低炭素な輸送モードへの転換

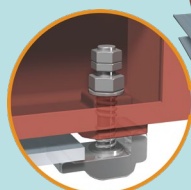
合積輸送の利用
複数現場の資材を1台のトラックに混載(AIの活用)

アルミ台車の導入
トラック荷台の床板を鉄板張りから重量が軽いアルミにシフト

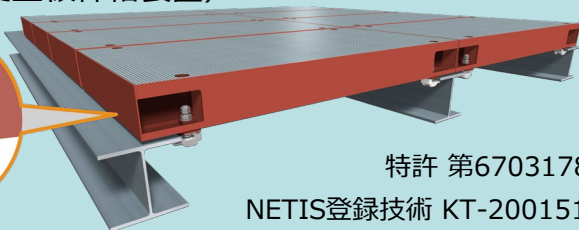
業界トップレベルの商品ラインナップにより、**重仮設事業の更なる強化を図ると共に、**
機械化・自動化、ICT活用を進め、グリーンでサステナブルな事業推進体制を構築します。

■ 新製品

ジェコスロック®の本格販売を開始
 (覆工板締結装置)



ジェコスロック



特許 第6703178号

NETIS登録技術 KT-200151-A

- 設置時間の大幅な短縮
- バタつき防止により周辺環境にも優しい

■ 新機種

最新鋭の杭打機を導入し、施工を合理化

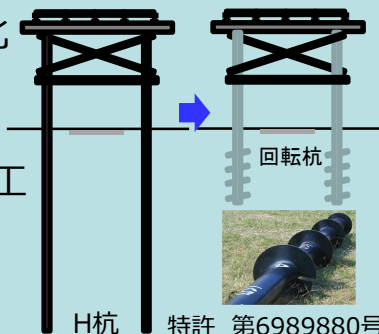
- 高出力バイブロと圧入機の併用により高い施工能力を実現
 プレボーリング不要
 - ・ 工期の短縮
 - ・ 無排土
- セメント不使用
 - ・ CO₂削減



■ 新工法

回転杭を用いた仮橋構造を開発
 実プロジェクトへの適用を開始

- 中間層支持で杭短尺化
 - ・ 工期の短縮
 - ・ 鋼材重量の削減
- 回転杭による無排土施工
 - ・ 産廃ゼロ
- セメント不使用
 - ・ CO₂削減



H杭

特許 第6989880号

■ 新設備

スチールセグメント溶接ロボットを増設

- ロボット増設によりセグメント溶接作業を最適化
 - ・ 生産性向上
 - ・ 省人化



事業の拡大・成長に向けた体制整備を推進しています。

■ 2022年4月、建機レンタル事業を行う子会社5社を統合（3事業本部に再編）

目的

地域密着型営業という従来の強みを維持強化しつつ、経営資源の集約・収益力の強化を図る

統合効果

資産構成の見直しを進め、社会・地域のニーズに応える

規模拡大のコストメリット享受

購買力強化

地域間の資産運用効率化

業務効率化

全社レベルの戦略の明確化

スピーディーな課題解決

店舗網・営業拠点の拡大

新たな分野への取り組みとして、無線遠隔操作重機 BROKK®を導入しました。

■ 新商品導入

特徴

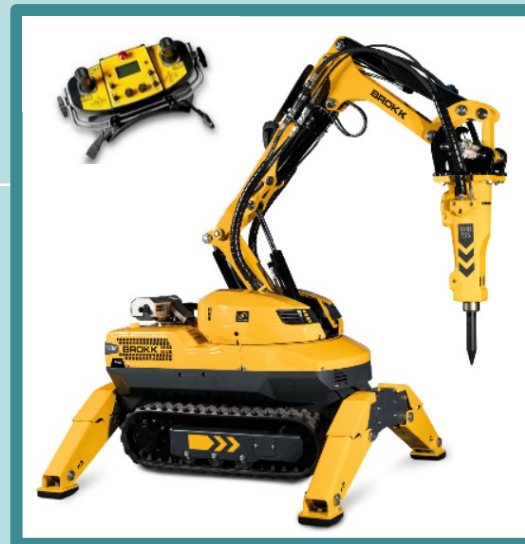
遠隔操作により、重機による危険作業（高所・高温・狭所）の災害リスク低減が可能
 最大遠隔操作範囲300m
 小型(最小サイズ560kg)でパワフル
 狭所作業可能

適用現場

水力発電所／導水路改修
 熱焼却炉設備内改修、ダム、下水道
 高速道路、鉄道、地下鉄
 解体現場、製鉄所等

保有機種

- ◎ BROKK 120D II【ディーゼル駆動】
 導水路・トンネル等
 無配線が必要なインフラ現場向け
- ◎ BROKK 70【最小・最軽量仕様】
 一般重機進入不可の狭小現場にて
 人力作業の機械化・無人化提案可能





ジェコス株式会社

*本資料で記述されている業績予想等は、当社が決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。